

【全国納税貯蓄組合連合会優秀賞】

税金で守られている私の暮らし

鹿児島市立黒神中学校

二年 田中 璃杏

「これについてどう思いますか。」

先日の国語の授業では、五〇〇キロ近く離れた中学校と合同授業が行われた。パソコンを使って教室を繋ぎ授業を行った。

始まる前までは、一人の方がいい。緊張する、と思っていたが、何回か交流すると、お互いについて知ることとで住んでいる場所について興味を持ち、仲良くなることができた。

私の通う黒神中学校は、桜島にある中学校の一つだ。全校生徒一名で、一人での学校生活も二年目になる。私が入学する前までは休校していた。だから、近くに同級生はいない。一人での学校生活は楽しく先生方とも仲良く過ごしているけれども、このように同級生と授業をするのも別の楽しさがあることに気づいた。国語の他にも理科や英語でも他の中学校とパソコンを通して合同授業をすることが増えた。英語の授業ではトルコにいる人とパソコンを繋げて授業をしたこともある。

私には授業で調べ物をしたり記録をしたりできる、私専用のパソコンがある。合同授業をしている生徒もそれぞれパソコンを使っている。このパソコンは学校が授業のために貸し出してくれるものだ。

学校で使われる物は、税金によって賄われている。インターネットで調べてみると、国税庁のホームページに、中学生一人あたりに使われている税金の額が掲載されている。なんと、約百九万千円の税金が使われている。鹿児島県の年報によると、令和三年十月現在の中学二年生は、一万四千五百八十五人。そうすると、約百五十九億千二百三十五万円という巨大な額が私たち中学二年生のために使われている。一生、目にするのではないであろう金額だ。それが三年間、いや小学生や高校生にも使われていると思うとすごいことだと思う。税金は、教育費の他にも私たちの生活を豊かにするため、ゴミ処理費用や信号機、国民医療費などにも使われている。

国民の生活を豊かにするための税金が、こんなにもたくさん中学生に使われていると知り、しっかりと勉強をして大切に使わないといけないなと思った。

私が色々なことを調べたり、交流したりするために使っているパソコンも税金によって準備された物だ。パソコンがあることで、遠くにいる同級生と話をすることができたり、もっと遠くにいる人と出会えたりする。こんなすばらしい機会を作ってもらい感謝している。

祖母が家の固定資産税を支払わなければならぬときに「高い。」と言っているのを聞いたことがあるが、教育費や他の事に使われているのを知ると、私の方が得をしているのではないかと思った。私は今、税金を納めていない。今は多くの人に支えられているが、多くの人を支え合う一人になりたい。だれもが安心して暮らせる未来のためにしっかりと勉強して、税を納められるようになりたい。